
angelprincess

瑠璃色

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

angel princess

【ZPDF】

Z7029Z

【作者名】

瑠璃色

【あらすじ】

もうすぐ、一端観察。

高校一年生になつた御坂美琴のクラスが学園都市に嵐を巻き起こす！？

オリキヤラがダメな方はバックをおすすめします。

作者の語彙はひつじょーに貧しいのでお気をつけください。

クラス（前書き）

はじめまして！

かなり文が苦手なので分かりづらいと思いますがよろしくお願いします。

美琴 視点です。

クラス

「御坂ー！」

ただいま、私、御坂美琴は高校一年生で楽しく？スクールライフを送っています。

一緒に学校に通っているインデックス、統括理事会理事長になられた当麻に一方通行。魔術師と戦う時の仲間の元春にエリツアリ、アイテムの面々に「eve15」の面々。楽しくない筈が・・・ない・・・んだ。

確かに魔術師と戦うのも大変だけど、でも楽しい筈なんだ。

長点上機学園。

もうすぐ、一端覧祭がある。

最もこのイベントはいわいる文化祭で、学校説明会もあるので入学希望者が対象になる。

ここ、長点上機も見学者獲得に力をいれている。

1-A

「クラスの出し物を決めますー！」

委員長がハイテンションで語りと皆もイエーイ！とテンションあげる。このクラスはエリートというより、バカやっている感じで楽しい。私もバカやつてる一人なんだけどね！

「折角美少女と美少年がそろってるんだから、メイド＆執事カフェとかは？」

流人の提案にほとんどが賛成し、決定した。あーまた接客担当だなーと憂鬱に思つていると

「美琴、きつと接客担当でしょ？」

と言われてしまつた。声をかけてきたのは日ノ坂 沙羅（ひのさかさら）。さつぱりした性格でクールビューティーと言われていてモテている。level4の「風力使い」^{ニアロシュー}。

「みこちゃんは可愛いもんね」

この子は祭花 未玖（まつりか みく）。明るくて少し子供っぽい。歌が上手く、歌姫と呼ばれている。level4の「動物指揮」^{アニマルタクト}。

二人も十分可愛いのに・・・。だつて一日に一人のペースで告白されているんだよ？私達は1Aの美人三姉妹と呼ばれているし。別に姉妹という訳ではないけど姉妹みたいでこのあだ名は三人とも意外に気付いている。美人はいらない気がするけど。

「三人とも接客担当だろ？」

そう言つてきたのは柊 流人（ひいらぎ りゅうと）。カフェを提案した子だ。彼はイケメンなのだが自覚なしで性格はふざけたところがあるけど、優しかつたり、行動力があるいい子だ。level1の「空間掌握」^{ルームアウト}。

「そうだよ～。未玖も沙羅も接客だよ？」

「それを言つなら流人と美琴もじやない？」

四人でふざけて言っていたのだが、実際に十分後に私、沙羅、未玖、流人揃って接客担当になってしまった。衣装とか接客の練習とか大変なんだよなー。皆、同じことを思つていたようで苦笑した。

一週間後

「流つちー！（流人のこと）笑顔！」

「ミクリンー（未玖のこと）料理を落とさないで！」

接客の先生の委員長の注意がどんどん飛ぶ。かれこれ一時間はこんな感じでさすがに・・・

「ずっと笑顔しているといわれても・・・」

「少し休ませてよー委員長」

未玖は頬を膨らませて、流人はつんざりしているような顔をして抗議する。委員長はしそうがないなーと言い、十分の休憩をくれた。

委員長は本名、平野 玲（ひらの れい）、性格はセリフだと真面目さうだが結構テンションが高く、お祭り事に目がない。人をあだ名で呼ぶ。levvel4の「バイロキネシス発火能力」。

「みこちゃんは接客上手いなー」

「玲だつて上手いじゃん。前、クレーム来たときとか凄かったよ？」

玲とは気が合つ。玲も常盤台出身でどうしてもただ面目なクラス

に馴染めなかつたらしい。私も堅苦しいのとか、真面目なだけのはつまらないと思う。今は凄く楽しいけどね。玲も楽しいみたい。

「みことこるかな?」

私を訪ねてきた人はインテックスだった。滅多に私のクラスに来ることなんてないのに。なんのようだらう?と不思議に思つているとクラスが騒がしくなる。これも銀の姫君と呼ばれているインテックスの力なんだらうなーとのんきに思つていると

「みことー何ボーつとじてるんだよ?」

「あーなんでもない。で要件は?」

滅多に来ないインテックスの用なんて思いつかないし、なにか深刻なことでもあつたのかな?と思つていていたのだが

「みことおーとつまがとうまがね鈍くて気づいてくれないんだよ!」

たいしたことでは無かつた。深刻に思つだけ無駄だつたなーと呆れてしまつた。インテックスをほつとく訳にもいかず話を聞いたのけど、結局勘違いし合つていただけだつたので、

「素直に話しなよ?つち使つていいから」

とだけアドバイスし、戻つた。まったく一人とも素直じゃないなー。青春あくつてますなーと思ひながらアイテムの面々に連絡する。

『インテックスと当麻が素直になんないからちよろつとでに入れな
い?』

少し待つていると、携帯が鳴る。おそれくアイテムからの返信だろう。

『おっけいだにゃー。でどうある?..』

返信しようとしたが

「みーちゃん!早く戻ってきてー!」

と未玖に呼ばれてしまいできなかつたのだが……。

そのあとが地獄だった。

ありとあらゆるメイド服を着せられ、礼儀作法をいらなうことまで叩き込まれた。流人と未玖は終わつてすぐにカラオケに行こうと言い出し、帰れたのは七時だった。

完全下校時刻を大きくオーバーしたことについては突つ込まないでほしい……。

能力の設定（前書き）

オリジナルの能力である、未玖の「アニマルタクト動物指揮」と流入の「ルームアウト空間掌握」の設定です。

能力の設定

「**動物指揮**」
アニマルタクト

動物を従えることができる。

動物の声が聞こえ、level1次第で動物の巨大化、最小化が出来る。

その動物が懷いているかどうかも関係し、巨大化などは自分のペットとの方が成功率は高い。

未玖の場合、イメージ（自分がだけの現実）をより鮮明にするため、巨大化させたりするときは掛け声のようなものを言う。

例「**動物指揮！dynamics、フォルティッシモ！**」
アニマルタクト

未玖は歌が得意な為、この言葉は音楽用語で、意味は未玖が強弱と言う意味のdynamicsを強弱でなく、大小と捉え、フォルティッシモは強くと言う意味だが大きくと捉えている。なので大小＝大きさを変えると言う意味で言つていて大きく＝大きくするという意味で言つてている。

「**空間掌握**」
ルームアウト

空間の把握、空間を創ることが出来る。

空間の把握はどこに誰がいて、その空間の大きさは「いつ」と「いつ」とが分かる。

空間を創るというのは意味は違うが、ハルヒのつくりだすようなもので、自分の創る空間の大きさの範囲に（自分を中心として）いるとその空間に入る。本人は入ることも入らないことも出来るが今の

流入のlevelでは不可能。創れる空間の大きさも制限がある。
空間を創るのを応用して足場を作ることが可能。

能力の設定（後書き）

分かりづらくてすみません

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7029z/>

angelprincess

2011年12月25日16時49分発行